

LETTER FROM COPENHAGEN
コペンハーゲン通信 PART V
5

デンマークの街並み



デンマーク王国 DATA



人口566万人(≒兵庫県)、面積4.3万平方キロ(≒九州)、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

本会事務局職員が、2007年1月より在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度で高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。

山口 晃平

在デンマーク日本大使館二等書記官
 (経済同友会事務局より出向中)



デンマークの治安情勢

2015年11月13日に起きたパリ同時多発テロ以降、家族や友人から「コペンハーゲンは大丈夫なの?」といった連絡が増えました。多数の犠牲者を出した今回のテロについては、当地でもテロ対策等を含む関連の報道が続いています。フランスだけではなく欧州の国々全体が、今回の事件を自分たちの目の前の危機として認識していることがうかがえます。

2015年2月14日・15日には、コペンハーゲンにおいてもイスラム過激派の影響を受けた男によって、表現の自由に関する討論会の会場とユダヤ教の礼拝施設に対する銃撃テロ事件が発生しています(犯人は射殺され、共犯者五人も逮捕)。この事件でも二人の民間人が犠牲になり、六人の警察官が負傷しました。

表現の自由を大切にしているデンマークでは、新聞等にイスラム関連の風刺画が掲載されたことにより、イスラム過激派の攻撃対象となっています。2008年以降、テロ事件は未遂を含め5件発生しており、今回の一連のテロ事件はここデンマークも決して人ごとではありません。当地の公安当局によるテロ等の警戒レベルは五段階で上から二番目のレベルとなっており、ユダヤ教の礼拝施設や大規模な集会等では、警察による警備が今でも行われています。

デンマークの一般治安情勢を見ますと、日本の治安情勢と比べ犯罪発生率は約7倍と高めです。先日も、大使館員が車上荒らしに遭って窓ガラスを割られた上、カーナビを

盗まれる事件が発生しました。また、日本から観光に来られた方が、スリ被害に遭って大使館にパスポートの再発行申請に来られるのを目にすると、あらためて日本の治安の良さを実感させられるとともに、外国に来ているという自覚の下、普段から気を付けなければと感じます。

刑法犯罪発生率の比較
 (10万人当たりの年間認知件数、2014年)

	日本	デンマーク
殺人	0.8件	3.7件 (日本の約 4倍)
強盗	2.4件	41.0件 (日本の約 17倍)
窃盗	705.9件	5631.3件 (日本の約 8倍)

※日本「警察白書」、デンマーク「Denmark Statistics」から筆者作成

本稿をご覧いただいている方の中には、旅行や出張等で海外に出掛ける予定の方もいらっしゃるかもしれませんが(嫌な気分にはさせてしまっていたらお詫びいたします……)。「もしかしたら自分は狙われているかもしれない」という認識の下、最低限の注意を払うことや、危険なエリアに近づかない等の対応が必要だと思えます。また、外務省が提供している「たびレジ」*への登録をお忘れなく。旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メール、いざというときの緊急連絡などが受け取れるシステムです。旅行や出張中の万一の事態に備え、「たびレジ」で信頼のおける情報源を確保しておくことをお勧めします。

※外務省海外旅行登録「たびレジ」<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg>